

教育委員会定例会議事録

令和3年5月25日 午後2時00分 開会

出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	戸 苺 恵理子
委 員	菅 沼 由貴子
委 員	渡 辺 時 行
委 員	山 田 清 志

説明のための出席者

教育部長	前 田 清 彦
教育部次長	高 橋 純 司
教育部次長兼学校教育課長	山 本 一 之
教育部次長兼中央図書館長	尾 崎 浩 司
庶務課長	酒 井 保 吏
学校教育課主幹	桑 野 立 吾
生涯学習課長	林 弘 之
スポーツ課長	梅 野 忠 彦
学校給食課長	林 俊 光
中央図書館主幹	中 西 明

教育長が指定した事務局職員

主 事	近 藤 邦 宏
主 事	森 下 徹

議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第21号議案 教職員の任用について（非公開）
- 第3 第22号議案 豊川市社会教育委員の委嘱について
- 第4 第23号議案 令和3年6月補正予算について

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、直ちに会議を開きます。始めに、日程第1、「議事録署名委員の指名」を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、菅沼・渡辺 両委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

「高本教育長」 次に、日程第2、第21号議案「教職員の任用について」を議題と

いたします。なお、本案は、職員の人事に関する案件ですので、議事を非公開とし、会議内容の議事を別に記録することとしてよろしいですか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認め、本件は非公開で行います。それでは、事務局からの説明をお願いします。

「山本教育部次長」 第21号議案「教職員の任用について」を資料に基づき説明。

(以下、議事内容は人事情報に関わるため議事を非公開)

「高本教育長」 続きまして、日程第3、第22号議案「豊川市社会教育委員の委嘱について」を議題といたします。それでは、事務局から説明をお願いします。

「林生涯学習課長」 第22号議案「豊川市社会教育委員の委嘱について」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 この件について、ご質問がありましたらお願いします。

「戸荻委員」 委員名簿の中で、役職名が「ヒト・コト・モノ制作委員会プロデューサー」という方がいますが、これは豊川市にある団体ですか。

「林生涯学習課長」 この方は、市内住宅メーカーである株式会社イトコーの社員の方です。タウン誌や情報誌を手掛けていたり、会社等を会場として、オープンカレッジのような講座を開催されたりしています。様々な情報発信を得意とされている方となります。

「高本教育長」 この教育委員会定例会の承認を経て、委嘱をするということです。ほかにご質問、ご意見がなければ採決を行います。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認めます。日程第3、第22号議案「豊川市社会教育委員の委嘱について」は原案のとおり可決いたしました。

「高本教育長」 続きまして、日程第4、第23号議案「令和3年度6月補正予算について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「酒井庶務課長」「林生涯学習課長」 第23号議案「令和3年度6月補正予算について」を資料に基づき説明。

(庶務課：繰越明許予算との重複に係る現年度予算の減額、GIGAスクールサポーター事業費の追加補正について)

(生涯学習課：白鳥遺跡確認調査費用の追加、海洋センター所在自治体による偉人マンガの制作と活用事業の追加)

「高本教育長」 この件について、ご質問がありましたらお願いします。

「戸荻委員」 GIGAスクール事業の進捗状況について教えてください。

「酒井庶務課長」 庶務課からお答えできる範囲内で答えさせていただきます。ま

ず、G I G Aスクール構想で配備する端末ですが、教員向けも含めると全部で約16,000台となります。これらは、昨年度から配備を進めており、現在残り3,800台程を残すのみとなっています。未配備の端末数は全体の23%程となりますが、それらも今年の7月から8月頃に納品される予定です。また、校内の無線LANについては、昨年度中に整備が完了し、この4月から使用可能な状況です。G I G Aスクール事業で配備された端末の活用については学校教育課を中心に検討することとなりますが、学校教育課予算のICT教育支援員が各学校を巡回し、支援を行うこととなります。

「高本教育長」 学校教育課のICT教育支援員と、今回庶務課が補正計上したスクールサポーターは同じような業務を行うのですか。

「酒井庶務課長」 今回、庶務課で補正計上したG I G Aスクールサポーターは、ICT環境の初期対応について支援するものです。16,000台もの大量の端末が一気に納品されることとなりますので、その初期対応を支援するもので、授業には関わりません。一方で、学校教育課のICT教育支援員は、学校での日常支援となります。10名の支援員が学校を巡回し、授業に関わりながらの支援を行うというものです。

「菅沼委員」 G I G Aスクールサポーターも、ICT支援員と同じように何人か雇用して、学校を巡回するのですか。

「酒井庶務課長」 都心の自治体であれば、ICTに明るい人材が集まりやすいのかもしれませんが、本市を含む大半の自治体では、そのような人材が集まりにくいので、業務内容を設定し、専門事業者に委託します。この委託業務の中には、先生向けに夏季休暇中の研修等も含まれています。特に、小学校に配備するi P a d端末については、これまで学校で導入していないこともあり、不慣れな先生も多いことが予想されるため、応用的な研修が必要になるのではないかと考えています。

「山本教育部次長」 ICT教育支援員については、5月からスタートしました。端末の活用については、学校ごとに差があって、支援員が巡回しながらその差を詰めているところです。

「戸荻委員」 小学校はi P a d、中学校はWindowsです。先ほどi P a d端末については、不慣れな先生が多いとありましたが、今回研修をするのは小学校の先生を対象にしたものだけですか。

「酒井庶務課長」 想定しているのは、小学校の先生向けの研修となります。

「戸荻委員」 中学校の先生も、今後の人事異動で小学校に行くことがあると思います。そういったことを考えると、中学校の先生もi P a d研修の対象に加えることもいいかもしれません。

「酒井庶務課長」 今回、小学校の先生向けの研修としていますが、先生全員が参加するのは難しいので、それぞれの小学校から担当の先生を集め、研修することとなります。研修内容は初歩的な操作方法などを含めた指導研修を想定していますが、その研修に参加した先生が、それぞれの学校に持ち帰って、他の先生に指導、伝達するこ

とを考えています。

「**渡辺委員**」 豊橋市では既に小中学校での活用が始まっています。知人によると、先日小学校5年生の子どもが、i P a dを持ち帰ってきて、オンラインに接続するテストをしてほしいと学校からあったようです。普段は学校に置いておくけれど、非常時には持ち帰るためだと思います。以前、W i - F i 環境がない家庭の割合が示されたと思いますが、その人たちの対応について、どのように考えていますか。

「**酒井庶務課長**」 通信環境のない家庭への支援は、本市としても一番の課題と考えています。国はモバイルW i - F i ルーターの貸し出しを提案していますが、仮にW i - F i ルーターを整備するとしても、機器代だけなのか、通信費用まで手当するのかという課題があります。また、全家庭を対象とするのか、要保護・準要保護世帯などのみに絞りこむのかという課題もあります。さらに、家に持ち帰るとした際のセキュリティ対策の問題など様々な課題がありますので、正直なところ豊川市としては、当面持ち帰りはせずに、まずは学校での活用を優先的に取り組んでいきたいというのが現状です。ただ、保護者からは家庭での活用についての要望が強くあると思いますので、それに向けて克服していきたいと思います。

「**渡辺委員**」 家庭で使う、使わないという議論や、W i - F i 環境にない人たちへの対応については、今起こった課題ではなく、かなり前から把握できていたものです。現在も検討中とのことですが、いつまで検討するつもりなのか、緊急事態がすぐ発生するかもしれないという危機意識をもって、早くその内容を突き詰め、いざという時にすぐ対応できるような体制にする必要があるのではないかと思います。

「**山田委員**」 生涯学習課に伺います。今回、B & G財団が偉人マンガを作成するための経費を全額支援されるとのことですが、これに至った経緯や、今後の活用方法、作成する部数などについて教えてください。

「**林生涯学習課長**」 B & G財団が、地域の偉人を題材としてマンガを作成し、それを学校の授業で活用する事業に対する支援を新たに始めたことがきっかけです。関連施設がある自治体に対し募集があり、全国20程の自治体で同じように地域の偉人マンガが作成されることとなります。本市では、数学教育の功労者として著名な曾田梅太郎氏を題材として作成する予定です。支援額は一律300万円となりますが、継続的なものではなく、単発なものだと思います。学校で活用するためのものとなりますので、曾田梅太郎氏の地元である八南小学校の先生や、学校教育課の指導主事も含めた委員会をつくって、その中で検討していくこととなります。印刷部数ですが、B & G財団の意向により千部以上とありますので、千部作成予定です。完成後、まずは八南小学校で活用していきたいと考えています。

「**高本教育長**」 ほかにご質問、ご意見がなければ採決を行います。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

「**高本教育長**」 異議なしと認めます。日程第4、第23号議案「令和3年度6月補正予算について」は原案のとおり可決いたしました。本日の会議に付議されました案

件は以上ですので、これで本委員会は閉会といたします。
(午後2時58分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員